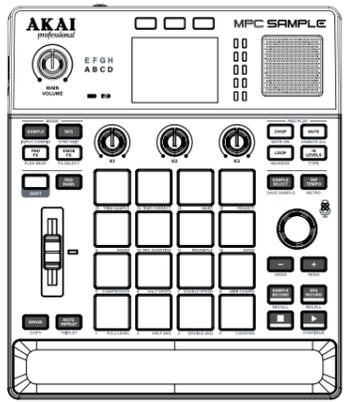


AKAI professional

MPC SAMPLE

クイックスタートガイド (日本語)

v1.0



AKAI.PRO.COM/SUPPORT
AKAIプロダクトの詳細、ビデオ、問い合わせ先、Web サポート
については、左のQRコードまたは上記 URL をご覧ください。

Model: AC50

製品保証規定

- 製品の保証期間はご購入日より一年間です。
- ご購入時の納品書・領収書がご購入証明になります。紛失しないように大切に保管してください。
- 保証期間内の無償修理はお買上げの販売店にご依頼の上、購入証明をご提示ください。
- 贈答品などでお買上げ販売店が不明な場合には、弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の移動や落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
- 消耗部品の交換。
 - (ホ) 購入証明のご提示がない場合。
 - (ハ) 購入証明にご購入日および販売店名の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- inMusic Japan は製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的および間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づき inMusic Japan が負う責任は販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は inMusic Japan でのみ行われるものとします。
- オークションなどを含む中古販売品・個人売買品・未開封品の二次販売等は本保証の対象外となります。
- 修理およびその他ご不明な点につきましては、弊社カスタマーサポート部へご連絡ください。

inMusic Japan株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 1-5-10 小池ビル 2F

[Web] inmusicbrands.jp

[サポート] www.inmusicbrands.jp/support/

本書に記載されている内容は、作成時点の情報に基づいており、予告なく変更される場合があります。記載内容の正確性や最新性を完全に保証するものではありません。

1 はじめに

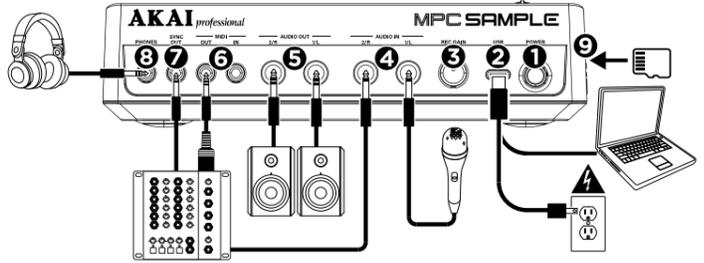
同梱物：MPC Sample 本体、USB-C® ケーブル、クイックスタートガイド、安全・保証マニュアル



AKAI.PRO.COM/REGISTER

- 製品の登録
- ユーザーガイドのダウンロード
- 付属ソフトウェアのダウンロード
- チュートリアルビデオ

2 接続



- 電源ボタン**：MPC Sample の電源をオン / オフ します。
- USB-C® ポート**：MPC Sample の電源を入れたり内蔵バッテリーを充電したりするには、一般的な USB-C ケーブルを使用して、USB-C 電源アダプター、USB-C モバイルバッテリー（いずれも別売）、または USB-C 対応のコンピュータのオーディオポートに接続します。また、この接続を使用して、接続されたコンピュータからのオーディオをサンプリングすることもできます。
- Rec Gain (録音ゲイン)**：ラインレベルのオーディオ入力の音量を調整します。
- オーディオ入力 (6.35 mm TRS)**：これらの入力端子には、マイク、楽器、またはその他のオーディオオース (ミキサー、シンセサイザー、ドラムマシンなど) を接続します。
- オーディオ出力 (6.35 mm TRS 端子)**：これらの出力端子には、モニターやミキサーなどを接続します。
- MIDI 入出力 (3.5 mm TRS)**：3.5 mm - 5 ピンの MIDI DIN 変換コネクタ (別売) を使用して、対応する MIDI デバイス (シンセサイザーやドラムマシンなど) を接続します。
- Sync 出力 (3.5 mm TS)**：この 5V のコントロール電圧 (CV) 出力は、外部のモジュラー機器と同期するためのクロックパルスを送信します。
- ヘッドホン出力 (3.5 mm TRS)**：ここにヘッドホン接続してください。
- microSD カードスロット (左側面、図には表示されていません)**：ここに外部ファイルのストレージとして microSD カードを挿入します。

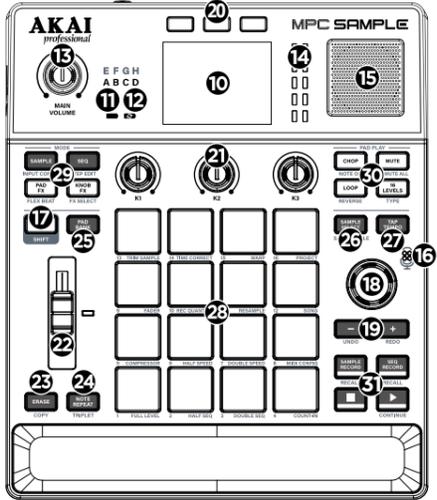
安全にお使いいただくために

- すべての警告や指示に従ってください。本書は大切に保管してください。
- 警告 (該当する場合)：電気や安全などに関して、製品の外装底部の外殻または背面パネルに印刷された情報を必ず参照してください。
- お手入れの際は乾いた布を使用してください。
- 水と濡気 (該当する場合)：本機を水の近くで使用しないでください。本機を水滴や水しぶきにさらしたり、花瓶など液体が入ったものを本機の上に置いたりしないでください。
- (該当する場合)換気口を塞がないでください。製造元の取扱説明書に従って設置してください。良好な通気を保ってください。本機を本棚などの狭い場所、もしくは箱状になったスペースに設置しないでください。
- 暖房機器などの熱を発生する装置 (ファンブLOWERを含む)の近くに設置しないでください。点火されたキャンドルなど、火気のあるものを本機の上に置かないでください。
- (該当する場合)本機は、取扱説明書に記載されているタイプ、または本機に記されているタイプの電源にのみ接続してください。
- 電源コードが損傷しないように注意してください。移動中や使用しないときには、ケーブルタイなどで電源ケーブルをしつかりと固定してください。再度使用する前に、電源コードが損傷していないかを確認してください。電源コードがどのように損傷した場合でも、本機とコードを専門の修理技術者へ持ち込み、製造元が指定する修理または交換を受けてください。
- 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
- 製造元が指定するアクセサリーのみを使用してください。
- (該当する場合)製造元が指定する、もしくは本機とセットになっているカート、スタンド、トリポッド、ブラケットまたはテーブルを使用してください。
- 内部/外部電圧セレクター (該当する場合)：内部または外部の電圧セレクタースイッチがある場合、専門の修理技術者によって適切なプラグにリセットおよび再設定する必要があります。自分で変更しようとししないでください。
- 注意 (該当する場合)：バッテリー交換の過失による、爆発の危険があります。同型または同等品とのみ交換してください。
- (該当する場合)極性付きのプラグやアース端子付きの電源プラグは危険防止のために正しく使用してください。これらは安全のためのものです。
- 保護アース端子 (該当する場合)：保護アース接続のある主電源コンセントに接続してください。
- クラスII機器のみ：このシンボルは、機器がClass IIまたは二重絶縁電気機器であることを示しています。安全性のため電気的なアースへの接続を確認してください。
- 警告 (該当する場合)：主電源プラグを主電源に接続する前に、アース接続を行ってください。アース接続を外すときは、必ず主電源プラグを主電源から抜いた後に外してください。
- (該当する場合)主電源プラグ又は器具カプラを遮断器として使用する場合、遮断器は容易に操作可能なままではなければならない。
- 該当する場合)：聴覚障害を防ぐため、大音量で長時間使用しないこと。
- 本装置は業務用です。想定される使用環境：おだやかな気候。



3 使い方

- ディスプレイ**：MPC Sample の各種メニューやパラメータを表示します。
- バッテリーアイコン**：電源に接続されていないときに点灯し、現在のバッテリー残量を表示します。
- 充電アイコン**：内蔵バッテリーの充電中に点灯し、充電が完了するまで電源に接続されると消灯します。
- メインボリューム**：内蔵スピーカー、またはオーディオ出力やヘッドホン出力に接続された機器の音量を調整します。
- メーター**：メーター出力レベル、またはサンプリングの入カースタスレベルを表示します。
- スピーカー**：オーディオ出力やヘッドホン出力に何も接続されていないときに音声を再生します。内蔵マイクで録音している間は、スピーカーも無効になります。
- 内蔵マイク**：内蔵のコンデンサーマイクを使用ば、あらゆる音をかたんにサンプリングできます。
- Shift**：このボタンを押し続けると、各ボタンの下に表示された二次機能にアクセスできます。二次機能は、下部にイタリック体で印字されています。
- エンコーダー**：各ボタンと併せて使用することで、MPC Sample の設定を調整できます。エンコーダーを押すことで、オプションの選択や現在のパラメータの保存ができます。
- ノブ**：現在のパラメータを増減します。
- Undo (アンドゥ)**：直前の操作を取り消すか、取り消した操作をやり直します。
- ファンクションボタン**：これらのボタンを押すと、ページを切り替えたり、ディスプレイに表示されている機能を有効にしたりできます。
- ノブ**：この3つのノブは、ディスプレイに表示されているパラメータを操作します。
- フェーダー**：初期設定では、選択中のノブに割り当てられたサンプルの音量を調整します。また、オートメーションのパラメータやステップエディットでのイベントの微調整など、ほかのパラメータの調整にも使用できます。
- Erase (削除)**：再生中にこのボタンを押しながらノブを叩くと、そのノブのイベントをシーケンスから消去できます。また、このボタンを押しながらフェーダーやノブを動かすと、オートメーションを消去できます。停止中にこのボタンとノブを押すと、サンプルモードではサンプルを、シーケンスモードではシーケンスを消去できます。
- Copy (コピー)**：現在のサンプルまたはシーケンスを別のパッドにコピーします。
- Note Repeat (ノートリピート)**：パッドのノートリピートを有効にし、現在のタイムディビジョンの設定に従って繰り返しトリガーされるようになります。
- Triplet (三連符)**：ノートリピート使用時の三連符のタイムディビジョンを有効にします。
- Pad Bank (パッドバンク)**：パッドバンクを順番に切り替えます。選択中のバンクは、トップパネル上のメインボリュームコントロールの隣に表示されます。ボタンを押し続けながらノブ1~8を押すと、対応するバンクに直接ジャンプします。
- Sample Select (サンプル選択)**：選択中のパッドに割り当てられたサンプルを、内蔵ドライブまたは外部ドライブから選択するためのメニューを開きます。
- Save Sample (サンプルの保存)**：パッドに割り当てられたサンプルを保存するためのメニューを開きます。
- Tap Tempo (タップテンポ)**：任意のテンポでタップして現在のテンポを設定するか、押し続けてエンコーダーで調整します。
- Metro (メトロノーム)**：メトロノームを有効または無効にします。



- パッド**：16個のペロシディ対応パッド (ポリアフタータッチ対応) は、イベントやシーケンス、その他の機能をトリガーするために使用されます。
- SHIFT+パッド機能**：SHIFT を押しながら各パッドを押すと、以下の機能にアクセスできます：
 - 1 - Full Level (フルレベル)**：すべてのパッドが最大ペロシディで再生されます。
 - 2 - Half Seq (ハーフシーケンス)**：現在のシーケンスを半分の長さにし、後半部分のイベントを消去します。
 - 3 - Double Seq (ダブルシーケンス)**：現在のシーケンスをすべてのイベントごとに倍の長さにします。
 - 4 - Count In (カウントイン)**：カウントインを有効または無効にします。
 - 5 - Compressor (コンプレッサー)**：ディスプレイにコンプレッサーエフェクトのページを表示します。
 - 6 - Half Speed (ハーフスピード)**：現在のシーケンス内のイベントが半分の速度で再生され、シーケンス内では2倍の長さを含めるようになります。
 - 7 - Double Speed (ダブルスピード)**：現在のシーケンス内のイベントが2倍の速度で再生され、シーケンス内では半分の長さを含めるようになります。
 - 8 - MIDI Config (MIDI設定)**：MIDI設定ページを開きMPC Sample の MIDI の送受信方法を調整できます。
 - 9 - Fader (フェーダー)**：フェーダーページを開き、パラメータの割り当てや無効化が行えます。
 - 10 - Rec Quantize (Recクオンタイズ)**：入カクオンタイズを有効または無効にします。
 - 11 - Resample (リサンプリング)**：現在のシーケンスを自動的にリサンプリングし、次に選んでいるパッドに割り当てます。
 - 12 - Song (ソング)**：ソングページを開き、シーケンスを組み合わせて楽曲を構成できます。
 - 13 - Trim Sample (サンプリングトリミング)**：選択したサンプルの開始点と終了点をトリミングします。
 - 14 - Time Correct (タイムコレクト)**：選択中のパッドに対するタイムング修正の設定ページを開きます。
 - 15 - Warp (ワープ)**：選択中のパッドのサンプルに対するワープを有効または無効にします。
 - 16 - Project (プロジェクト)**：プロジェクトページを開き、プロジェクトの保存、読み込み、新規作成が行えます。

- Mode (モード)**：これらのボタンで、MPC Sample の現在の機能モードを設定します。
 - Sample (サンプル)**：サンプルモードでは、パッドで割り当てられたサンプルの選択とトリガーを行います。トリガーできます。最大で4つのエフェクトを同時に有効にできます。
 - Input Config (入力設定)**：レコーディング用のオーディオ入カースタスを選択 / 調整します。
 - Seq (シーケンス)**：シーケンスモードでは、パッドでイベントのシーケンスを選択 / トリガーします。選択中は、ディスプレイを使ってシーケンスの設定や各種パラメータを調整できます。
 - Flex Beat (フレックスビート)**：有効にすると、各パッドがフレックスビートパターンを使用し、シーケンスオーディオのピッチ、タイムング、または音量を変化させます。
 - Knob FX (ノブFX)**：ノブを使ってエフェクトを操作できるようにします。
 - FX Select (FXの選択)**：ノブFXモードで使用するアクトティブエフェクトを選択するメニューを開きます。

- Pad Play (パッドプレイ)**：これらのボタンで、サンプルモードにおけるパッドの機能を切り替えます。
 - Chop (チャップ)**：このモードに入ると、現在のノブが (初期設定ではスリッショルド) によって自動的にチャップされ、パッドで分割されたスライスを再生できます。
 - Note On (ノートオン)**：パッドを押し続けている間、そのパッドの再生が保持されます。
 - 16Levels (16レベル)**：このモードに入ると、現在のノブが16個レベルのレベルに切り替えられ、選択されたパラメータに従って低レベルから高レベルに段階的に変化します。
 - Type (タイプ)**：使用可能な16 Levels タイプ (ブーン、バドビーン、フォルターカットオフ) を順番に切り替えます。

- トランスポート**：これらのボタンで、シーケンスの再生と録音を操作します。
 - Sample Record (サンプルの録音)**：サンプルの録音を有効にします。パッドをタップすると、選択された入カースタスからの録音が開始されます。録音中に別のノブをタップすると、新しいノブで録音を続行し、最大にサンプルを分割する「レコーダーチャップ」が行えます。現在録音中のパッドをもう一度押すと、Stop を押すと録音が終了します。
 - Recall (リコール)**：現在選択されている入カースタス (USB を除く) から、直前の25秒間のオーディオを取得します。
 - Seq Record (シーケンスの録音)**：パッドをサンプルモードのまま使用して、シーケンスの録音を有効にします。Play を押すと、リアルタイム録音が開始されます。
 - Recall: Recall (リコール)**：最後のパッドで演奏されたイベントをシーケンスに取り込みます。
 - Stop (停止)**：シーケンスの再生または録音を停止します。
 - Play (再生)**：シーケンスの先頭から再生または録音を開始します。
 - Continue (コンティニュー)**：現在の再生ヘッド位置から再生または録音を開始します。

安全のための注意

注意：感電の危険を避けるため、カバーを取り外さないでください。内部にはユーザーによって修理可能な箇所はありません。修理は専門の技術者に依頼してください。

危険電圧：正三角形の中にある矢尻の付いた稲妻のシンボルは「危険電圧」が製品の筐体内に存在することを警告しています。この部分は絶縁されておらず、感電の危険があります。

取り扱い：正三角形の中にある感嘆符は操作やメンテナンス、または修理に関して特別な指示があることを警告しています。本機に添付されている取扱説明書を参照してください。

注意(米国およびカナダモデルのみ)：感電防止のため、ブレードが露出している場合、極性プラグを延長コードやレセプタクル、その他のコンセントに使用しないでください。使用する場合はブレードを完全に差し込んでください。

レーザー製品に関する注意事項：危険：本体が開かれた状態でインターロックが故障または解除された場合、目に見えないレーザーが照射されます。ビームに直接当たらないようにしてください。ここで指定されていないコントロールや調整を行った場合、有害な放射線被曝の可能性があります。

FCC規制に関する注意：規制に関する記述によって認められていない改造や修正を行った場合は、本機の操作権限がユーザーから剥奪される場合があります。本機は、FCC規則パート15に従い、クラスBデバイスの制限に準拠することが確認されています。この制限は住宅における設置において、有害な干渉に対する合理的な保護を目的としています。

本機は無線周波数エネルギーを発生させ、放射する可能性があります。また、取扱説明書に従わずに設置および使用された場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。一方、特定の設置に関して干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機がラジオまたはテレビに有害な影響を引き起こしていることが確認された場合、以下の1つまたは複数の措置を行ってください。(a) 受信アンテナの向きを変える、または場所を変更する。(b) 本機を移動する。(c) 本機と受信機の間隔を上げる。(d) 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに本機を接続する。(e) すべてのケーブルが適切にシールドされていることを確認する (必要に応じてテコウケーブルやフェライトを使用する)。(f) 販売店またはラジオ/テレビ技術者に相談する。(該当する場合)本機の操作や設置の際は、使用者はラジオエーターから20 cm以上離れてください。

RF警告文(該当する場合)：本機は一般的なRF暴露制限を満たしています。本機を高RF放射環境での使用は避けてください。

他ユーザーへの電波干渉の可能性を提言するため、等価平方放射電力 (EIRP) が正常な通信に必要な値を超えないよう、アンテナの種類とゲインを選択してください。この無線送信機 (認証番号、またはカテゴリIIの場合) はモデル番号でゲインを識別し、最大許容ゲインにおいて以下のリストが示すアンテナタイプで動作することがISEDによって承認されています。また、各アンテナタイプに要求されるアンテナインピーダンスが指示されています。このリストに記載されていない、表示されていないタイプに対する最大ゲインを超えるゲインのアンテナと本機の併用は固く禁じられています。

本機はカナダ通信相の電波号外規制によって定められた、デジタル機器からの電波ノイズ放射に関してクラスB制限を超えません。

本機は無保護、無干渉状態で動作します。同じテレビ帯域で運用されている他の無線サービスからの保護を得たい場合、無線免許を取得してください。詳細については、カナダ西部イノベーション科学経済開発省にお問い合わせください。本機は無保護、無干渉状態で動作します。同じテレビ帯域で運用されている他の無線サービスからの保護を得たい場合、無線免許を取得してください。詳細については、カナダ西部イノベーション科学経済開発省にお問い合わせください。

放射線暴露に関して：本機は非管理環境に対してISEDが定めた放射線暴露制限に準拠しています。(該当する場合)本機の操作や設置の際は、使用者はラジオエーターから20 cm以上離れてください。

5.15~5.25 GHzの周波数帯をサポートするワイヤレス製品の場合 (該当する場合)：5.15~5.35 GHz帯の使用は屋内のみに制限されています。この制限は以下の国で適用されます：AT, BE, BG, CZ, DK, EE, FR, DE, IS, IE, IT, EL, ES, CY, LV, LI, LT, LU, HU, MT, NL, NO, PL, PT, RO, SI, SK, TR, FI, SE, CH, UK, HR

英国において240ボルトで使用する場合、NEMA®スタリールの240ボルトプラグを使用してください。その他の国では、現地のコンセントに適したプラグを使用してください。

ESD/EFT警告：本機は信号処理および制御機能用のマイクロコンピュータを内蔵しています。ごまめに、強い干渉、外部からのノイズ、または静電気によってロックされる場合があります。万が一このような事態が発生した場合は、最低5秒間待ってから再度電源を入れてください。このESD警告マークが表示されているコンネクターのピンには触れないでください。

製品の破棄方法：このマークは本機がEU全域で他の一般廃棄物とともにされるべきではないことを示しています。破棄物処理による環境や人体への危害の可能性を防ぐため、責任あるリサイクルや材料資源の持続可能な再利用を推進してください。使用後の機材を返却する場合は、返却回収システムの利用、または製品を購入した小売店にご連絡ください。製品の環境に配慮した安全なリサイクルをおこなうため、小売店が製品を引き取ります。

製品またはリモコンにボタン電池またはコイン電池が入っている場合(CR1220、CR2025、CR2032、DC3.0V)：

警告	
<ul style="list-style-type: none">誤飲の危険性：本製品にはボタン電池またはコイン電池が含まれています。飲み込んだ場合、死亡または重傷を負う可能性があります。ボタン電池またはコイン電池を飲み込むと、わずか2時間内部化学やけどを引き起こす可能性があります。新しい電池や使用済みの電池は、子供の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んだら、体の一部に挿入した疑いがある場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。治療法については、最寄りの保健所にお問い合わせください。	

製品内部にあるボタン電池またはコイン電池は交換できません。

強制放電、再充電(非充電式電池は再充電不可)、分解、メーカ指定の定格温度以上での加熱、焼却はしないでください。ガス抜き、液漏れ、爆発による化学やけどにより負傷する恐れがあります。

電池の廃棄(該当する場合)：使用済みの電池は、取り外して直ちにリサイクルするか、地域の規則に従って廃棄してください。使用済みの電池でも、重傷や死亡の原因となることがあります。電池を家庭用ゴミ箱に捨てたり、焼却したりしないでください。過熱した電池は破裂や爆発の恐れがあります。電池の廃棄方法や廃棄場所が不明な場合は、お住まいの地域の条例を参照して、適切な場所や方法を確認してください。

- アルカリ乾電池とリチウムボタン電池：アルカリ電池とリチウムボタン電池は、通常の家庭ごみと一緒に安全に廃棄できます。通常の使用や廃棄において、健康や環境に対するリスクはありません。(アルカリ電池は、主に鉄、亜鉛、マンガンなどの一般的な金属で構成されています)アルカリ電池やリチウムボタン電池を大量にまとめて廃棄しないでください。使用済み電池は完全に「死んで」いないことが多いため、まとも捨てると「生きています」電池同士が接触して安全上の危険が生じます。これを避けるには、各電池をテープやその他の非導電性材料で絶縁し放電しないようにしてください。アルカリ電池やリチウムボタン電池は、費用対効果が高く、環境的に安全なリサイクル方法がまだ確立されていません。地域によっては、これらの電池のリサイクルや回収を行っているところもあります。詳細については、お住まいの地域の条例を参照してください。
- 鉛蓄電池：鉛バッテリーは、電子廃棄物センターまたはリサイクルセンターに持ち込むか、お住まいの地域の条例に従って廃棄してください。(充電式鉛蓄電池は自動車に使用されているものと同型のため、同様に廃棄してください)。

適合宣言に関する一般的な注意事項：当社は、本装置が欧州指令2014/53/EUまたは2014/30/EU (LVD: 2014/35/EU; GPSD: 2001/95/EC)の必須要件に適合していることをここに宣言します。

適合宣言に関する一般的な注意事項：当社はここに、本装置が電磁適合性規則2016、電気機器(安全)規則2016、または無線機器規則2017と英国法に従っていることを宣言します。製品の仕様によって適用される規制が異なることにご注意ください。英国適合宣言書の全文は、ご要望に応じてご提供いたします。